

創刊に当たって

関西学院大学経営戦略研究会発行の学術雑誌『ビジネス&アカウンティングレビュー』の創刊に際し、一言ご挨拶を申し上げます。

私は経営戦略研究科の創立以来、教員の研究活動が研究科の設立理念とも言える“理論と実務の融合”を表すものでなければならないと考えています。すなわち、それは一方では学問的に最高の研究水準を目指し、他方では、単なる理論の域を超えて、専門職大学院の研究成果にふさわしい、ビジネスと会計の“real world”と密接な関連を持つべきであると痛切に思っています。

今回、この創刊号に掲載された論文がこのいわば二重の目的を十分に達成していると確信しています。読者の皆さんにとって、知的に刺激的なものであると同時に、実際の実務に対しても有意義なものになることを願っています。

最後に、この『レビュー』の発行を可能にくださった編集者と投稿者の皆さんにお礼を申し上げたいと思います。

2006年3月1日

関西学院大学経営戦略研究科長 マーティン コリック

